学校番号	327

令和８年度　国際教養科（国際文化科）

教科	国際教養	科目	フランス語会話Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	ぜんぶ話して！[改訂版]（白水社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常会話を重点に置き、発音の聞き取りや正しい発音が出せるように繰り返し練習を行い、会話文を練習した上で、少人数グループで練習する。フランス語圏の文化に触れながらフランス語を使う喜びを味わうこと。

2　学習の到達目標

・学習を通して言語知識に加え、国の文化、価値観や歴史的な知識・理解を深める。
・学習した語彙や文法、表現を使って情報を理解したり、伝えたいことを表現したりできる。
・フランス語を使って、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	フランス語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 フランス語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	フランス語を使う場面において適切な表現を利用することができ、フランス語を通して必要な情報や考えなどの概要や要点を理解できる。	フランス語の背景にある文化に対する理解を深め、フランス語を利用して主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	leçon 9～11	食事で摂るものを言う。食料品を買う。値段を言う。部分冠詞。中性代名詞。 位置関係を言う。家の図面を説明する。前置詞と定冠詞の縮約。 道順を説明する。命令する。命令形。中性代名詞。	a：学習した語彙、表現、文法を理解しており、目的や場面に応じて使い分けることができる。 b:学習した語彙、表現、文法を使って、値段や位置関係、道順を相手に伝えることができる。 c:積極的に授業に参加し、自信をもって会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表
2学期	leçon 12～13	質問をする。予定について語る。疑問文の作り方。近接未来。動詞 partir。 練習問題：地方の郷土料理について話してみよう！ 12.課までの復習。天気について話す。時刻を言う。非人称構文。	a：学習した語彙、表現、文法を理解しており、目的や場面に応じて使い分けることができる。 b:学習した語彙、表現、文法を使って、質問をしたり、天気や時刻について話したりすることができる。 c:積極的に授業に参加し、自信をもって会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表
3学期	leçon 14～15	自分の１日を語る。別の言語でどう言うか、どう書くか、どう発音するか尋ねる。代名動詞。 今していることを言う。したばかりのことを言う。贈り物について相談する。進行形。近接過去。間接目的語補語人称代名詞。主語人称代名詞。	a：学習した語彙、表現、文法を理解しており、目的や場面に応じて使い分けることができる。 b:学習した語彙、表現、文法を使って、質問したり自分の行動について話したりすることができる。 c:積極的に授業に参加し、自信をもって会話や発表をすることができる。	定期考査 確認テスト 発表	定期考査 提出物 発表	提出物 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度